

12/7
(日)

慰めに満ちたる神

コリントの信徒への手紙Ⅱ一章1〜7節

神は、どのような苦難のときにも、私たちが慰めてくださる
ので、私たちを神からいただくこの慰めによって、あらゆる
苦難の中にある人々を慰めることができます。(4)

パウロはこの手紙の冒頭で、私たちが信じている神を「慰めに満ちた神」(3)と紹介します。私たちの慰めは神から来ると語ります。しかもその慰めは、「どのような苦難のときにも、私たちを慰めてくださる」というのです。たとえ私たちの状況がどのようにに変化しようとも、私たちを愛してやまない神は決して変わることがないという信頼から生まれるものです。そして、この慰めは私たちだけに留まるものではありません。神によって深く慰められた私たちが、今度は周りにいる苦難の中にある人々を慰めることができるようになるのです。なんと大きな恵みでしょう。私たちが信じ仰ぐ神は、慰めに満ちた神だからです。私たちが苦しみや悲しみに襲われるとき、慰めに満ちたる神を思い起こそうではありませんか。神のこの慰めは、私たちから周りの人々へと広がっていくのです。